

2010年6月13日、遠野市で開催された遠野物語発刊100周年記念式典に集った4人の市長は、それぞれの土地で大切に育まれてきた文化を活かしながら、個性豊かなまちづくりに取り組んでいくことを、ここに確認する。

1. 趣旨

地域の魅力と存在感を高めるためには、地域住民がそれぞれの立場で地域振興に総参加の地域社会を構築していく必要がある。求められる豊かさが、量から質へと変遷していく過程の中で、生活スタイルや価値観の多様化が、地域文化を含む新たな地域創造への流れを生み出している。

わたしたちは、先人から受け継いできた歴史や伝統、自然環境、生活の知恵など、地域の魅力を形成する固有の文化を再認識すると共に、社会変化に対応しながら、新たな文化を創造する地域へと進化するために、これまで進めてきた交流を更に発展させ、相互に協調し合い、更なる地域の発展を目指すものとする。

2. 基本的方向性

(1) 文化的資源の発掘

既存の地域資源に加え、まだ眠っている貴重な文化的資源の発掘を推進し、地域の魅力と存在感を高める活動を進める。

(2) 文化的資産の学習

地域の文化的資産の価値を認識し、共有するための学習機会の充実を図り、地域への誇りを醸成する。

(3) 文化的資産の活用

文化的資産の活用を推進し、市民協働による地域経営を確立する。

(4) 地域間の交流の促進

豊かな文化を持つ地域間の多様な交流を更に促進し、相互理解と新たな文化の創造に努める。

2010年 6月 13日

署名

武蔵野市長

邑上守正

三鷹市長

清原慶子

大府市長

久野孝保

遠野市長

本田敏秋